9月定例 水戸市議会

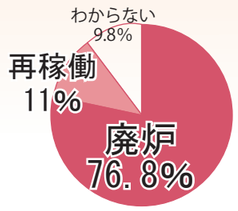
江尻かな議員は9月議会の本会議で高橋市長に対して代表質問を行いました。

日本共産党水戸市議団が今年7月に実施した市民アンケートや、江尻議員が介護施設や幼稚園・保育園を訪問して出された要望の実現を求めました。

江尻かな 議員

東海第2原発は廃炉に

東海第２原発について



県の避難計画は実行不可能

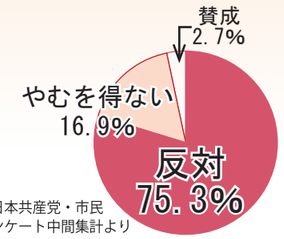
江尻議員は東海第２原発について「県が示した住民避難計画案は、水戸市民27万人がマイカーで高速道路を利用してつくば市など県内９自治体と、栃木、群馬、埼玉、千葉に避難するもので実行不可能だ」と指摘しました。

また「入院患者や福祉施設入所者を含め到底避難できない。避難計画策定は再稼働の条件づくりであり、原発は廃炉にすべき」と主張しました。

高橋市長は「国の動向を注視していく」と答え、再稼働反対は表明しませんでした。

消費税10%への増税中止を

消費税増税について



●日本共産党・市民アンケート中間集計より

日本共産党市議団が行った市民アンケートでは消費税10%への増税に「反対」が75・3%と圧倒的多数です。「暮らしが苦しくなった」は83%にのぼりました。

江尻議員は、消費税増税に反対することを市長に求めました。

市長は「増税は適切な判断だ」と答え、負担増を容認する姿勢です。

街頭から議会報告を行う日本共産党議員団

国保税の引き下げを

●福祉・医療に求めること

1位	医療費負担の軽減	50.7%
2位	国保税の値下げ	47.4%
3位	介護保険料の負担軽減	40.2%

（日本共産党・市民アンケートより）

江尻議員は代表質問で、市の 83 億円の財政調整基金（ため込み金）を活用して、「高すぎる国保税を一世帯１万円値下げすべき」と市長に強く求めました。

子育て・高齢者のくらしを支える市政に

江尻議員の６つの提案

- ●認可保育所の早急な増設
- ●保育士の待遇改善と増員
- ●障害児保育の対象拡大
- ●認可外保育所への補助実施
- ●幼稚園保育料の負担軽減
- ●開放学級は小学６年まで拡大

子育て保育

保育所 待機児童 238 人 9月1日現在

保育所ふやして

江尻議員は来年度実施予定の「子ども・子育て新制度」の問題点を指摘し、子育ての安心を広げる６つの提案を行いました。

あんしん介護

ヘルパーやデイサービス 介護きりすてやめて

高齢者の介護 生活支援の充実を

江尻議員は「水戸市内には要支援と認定された高齢者は２３００人もいる。国の計画では、要支援の高齢者のホームヘルプサービスやデイサービスが介護保険では受けられなくなる。これまでどおりのサービスを利用できるようにすべき」と主張しました。

市長は「今後は民間事業所やボランティアなどを活用した事業とする」と答弁しました。

外出支援を

買い物や通院に デマンドタクシー実施を

江尻議員は高齢者の切実な願いとして、通院や外出に安い料金で利用できるデマンドタクシーの実施を市長に求めました。

県内 37 市町村でデマンドタクシーやコミュニティバスを実施

中庭 次男 (251)3254

江尻 かな (243)6888

田中まさき (247)3714

日本共産党水戸市議団ニュース

2014年11月 No.605 発行：日本共産党水戸市議団 水戸市中央1−4−1 水戸市議会臨時議会棟内 TEL 029(306)9793 FAX 029(306)9796

2014年９月議会報告 ご意見やご要望をおよせください。ホームページ 日本共産党水戸市議団 検索 http://jcpmito.d.dooo.jp/ 議員個人のホームページにアクセスできます